


益田市の社協だより

Vol.255

2020年10月号

はあ〜てい

 この広報誌には、赤い羽根共同募金の配分金が使われています。

竹あかりに希望と平和への想いをのせて
～ 匹魅力 みんなの想火プロジェクト～



☆「匹魅力 みんなの想火プロジェクト」については、裏面の記事もご覧ください

益田市社会福祉協議会

本 所 〒698-0036 益田市須子町3-1 TEL: 22-7256 FAX: 23-4177
美都支所 TEL: 52-2392 FAX: 52-2716 / 匹見支所 TEL: 56-0374 FAX: 56-0387

共同募金が
始まります！

良くなるし
まねっ



共同募金はこんなところにも使われています

みなさんからご協力いただいた募金の70%は、益田市を良くするための福祉活動等に使われています。また、残りの30%は島根県内の福祉活動や防災活動等に役立てられています。



ボランティア活動



匹見上公民館 地域交流会



障がい者スポーツ大会



サマーボランティアスクール



美都・子育てサロン

赤い羽根共同募金 寄附つきグッズもあります！



▲「バンドリ！」缶バッジ
(※セットではありません)



◀「初音ミク」しおり



▲「しまねっこ」ハンカチ・ふせん・
エコバック (マチあり・マチなし両方有)

数には限り
があります。



▲「しまねっこ」「初音ミク」ピンバッジ



共同募金



この他にも様々な形で活用されています。
詳しい使い道については、中央共同募金会が運営する
ホームページ「はねっと」をご覧ください。

はねっと 益田市



共同募金運動は、毎年10月から赤い羽根をシンボルに、全国一斉に始まる募金運動です。

地域で暮らす誰もが、共同募金の協働パートナーとして善意の輪をつなぎ、「住み慣れた地域で安心してくらす」ことのできる町づくりをめざしていきます。

共同募金の趣旨をご理解いただき、今年度もご協力をお願いします。

10月1日(木)から

赤い羽根

の町を

Facebook
はこちら！



益田市共同募金委員会
SNSははじめました♪



Instagram
はこちら！

令和2年度
目標額

一般募金目標額 14,643,000 円

歳末たすけあい募金
目標額 4,851,000 円

～今年も新しいバッジがお目見えしました～



しまねっこわさまる・
ゆずりん・ぐりお (自転車)



<美都限定>
ゆずき×美都温泉



<匹見限定>
しまねっこわさまる (白)



しまねっこわさまる・
ゆずりん・ぐりお (飛行機)



<匹見限定>
しまねっこわさまる (黄)

Q1. バッジは何種類あるの？

益田市バージョンは全部で8種類あります。
その他にしまねっこバージョン（島根県共同募金会制作）もあります。

Q2. バッジは買えるの？

バッジは寄附のお礼に差し上げているものです。
気軽に100円で出来る寄附になりますのでよろしくお願いします。

Q3. バッジはどこで手に入るの？

空港限定バージョン3種類は空港のガチャガチャマシンで手に入ります。
益田市バージョンは総合福祉センター、益田市社会福祉協議会美都支所、
匹見支所で取り扱っています。特に美都と匹見の限定バージョンはそれ
ぞれの支所でしか手に入らないレアものになっています。



赤い羽根

ますだボランティア情報 No.48

新型コロナウイルス感染症 禍における

ボランティア活動の在り方

現在、新型コロナウイルス感染症により、さまざまな社会活動が制限されています。人と人とが互いに距離を取り、接触する機会を減らすよう求められる中で、地域住民等による福祉活動やボランティア活動も休止や延期など活動の自粛をせざるを得ない状況です。

しかし、活動の停滞により、家の中に閉じこもることを余儀なくされた高齢者の虚弱化の進行や、社会的孤立といった問題も浮き彫りになりつつあります。

人と人とのつながりが私たちの心の大きな拠り所であることが改めて感じられる中、withコロナのボランティア活動への取り組みが求められています。

コロナ禍でのボランティア活動にあたり 考えておきたいこと

① 担い手同士で話し合う

ボランティア活動の再開にあたっては、まず団体内の担い手同士が少人数で集まったり、オンライン会議等を利用して話し合い、今後どのように活動を行っていくか共通の認識を持つことが大切です。

② 感染防止等の正しい知識を身につける

地域によって感染状況はさまざまです。メディアやSNSの情報だけをうのみにせず、国や県、市町村等の発信する情報を確認したり、地域の専門家などの助言を受けたりするなど、正しい知識を得るように努めましょう。

③ 再開方法等を具体的に検討する

ボランティア活動再開にあたり、「3つの密(密集・密接・密閉)」を避ける、マスクの着用、手洗い・手指の消毒等の基本的な感染防止対策の着実な履行や、必要に応じて電話・手紙・メール等を活用する等の活動方法を見直すなど、具体的な方法を検討してください。

④ 活動に使える補助金・助成金の活用

国などの公的な補助金だけではなく、コミュニティ財団や民間等の中にも新型コロナウイルス禍における助成事業を設け、地域住民等による福祉活動等を応援しているところがあります。社協ホームページでは助成金に関する情報を随時掲載していますので、確認してみてください。

⑤ 利用者・対象者等への情報提供を行う

福祉活動やボランティア活動の利用者・対象者及び地域住民の方に安心してもらうためにも、その団体が感染防止策をどのように行っているかなど、適宜情報を提供していくことを心がけます。

⑥ 他地域の取り組みを参考にする

インターネット等で、全国の他地域の団体がどのような取り組みをしているかを確認し、今後の活動の参考にしてみてください。



益田市社会福祉法人連絡会 研修会を開催しました

誰もが安心して暮らすことのできる 地域づくりのために



8月5日(水)、益田市社会福祉法人連絡会研修会を開催しました。

益田市社会福祉法人連絡会とは、益田市内29社会福祉法人(令和2年8月現在)が、各法人の専門性やノウハウを活かして、地域課題の解決のために連携・協働して地域公益活動等に取り組むことで、誰もが安心して暮らすことのできる地域づくりを目的に、令和元年11月28日に設立されました。

市内の多くの社会福祉法人が、地域の住人の皆様がもっと住みよい町にしたいという思いを持ち、

「益田市に生まれてよかった」

「益田市で暮らしてよかった」

「益田市で最期を迎えられてよかった」と

心からそう思える地域づくりをめざしています。

益田市社会福祉大会 に関するお知らせ

毎年、数多くの方にご来場いただいております益田市社会福祉大会は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、今年度につきましては講演会及び少年の主張の発表を取りやめ、式典と表彰のみ執り行うこととなりました。それに伴い、参加者も式典・表彰関係者のみとさせていただきます。

また次年度以降、改めて開催の運びとなりました折には、皆様もぜひ足をお運びくださいますよう、よろしくお願い申し上げます。



福祉公開講座(10月)時間割

※ 福祉公開講座の詳細については、はあ〜てい8月号もしくは社協ホームページをご確認ください

10/2 13:30~14:30
(金) ペット

「飼い主の高齢化」
～ペットがもたらしてくれるもの～

講師：浜田動物愛護会マープル
代表 神門 桂子氏

- ・ペットが及ぼす心理効果
- ・もし自分が万が一の時、ペットは？

10/9 13:30~15:30
(金) 健康

「冬を元気に乗り切るために」
～冬に多い脳卒中を防ぐ～

講師：益田市健康増進課

- ・冬に起こりがちな脳卒中その対策とは？
- ・益田版益ます元気体操！

10/16 13:30~15:30
(金) 障がい

「あいサポーターを知っていますか？」
～障がいが壁にならない社会～

講師：益田市身体障害者福祉協会
野村 長典氏

- ・様々な障がいの特性を理解して、ちょっとした手助けや心配りができるようになろう

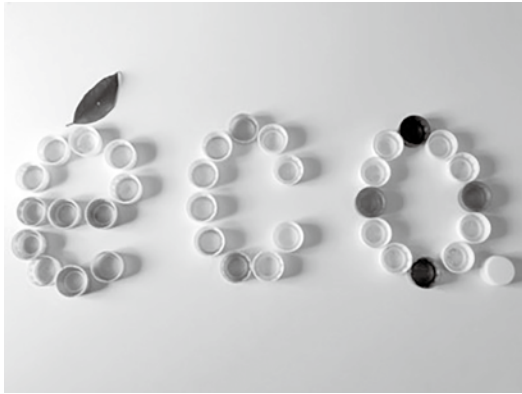
10/23 13:30~14:30
(金) 電子マネー

「キャッシュレス社会がやってきた！」
～わかりやすいキャッシュレス講座～

講師：ドコモショップ益田店

- ・電子マネーとは？
- ・使い方やキャッシュレス決済のメリット及びデメリットを知っておこう

エコキャップの収集にご協力いただきありがとうございました



7月28日、皆様からいただいたエコキャップを
広島県の回収業者へ送りました。エコキャップの
総重量469.3kg、寄付金額4,693円となり、約237
人分のポリオワクチンとなって届けられます。

今後も引き続きエコキャップの収集にご協力を
よろしくお願いいたします。



善意の輪 (令和2年6月1日～令和2年7月31日) 敬称略

ご寄附ありがとうございます。地域福祉活動
事業費や、福祉基金積立の原資として、大切
に活用させていただきます。

【香典返し】	【香典返し】	【一般寄付福祉事業へ】
(故) 田原 延子 安富町 金一封	(故) 佐々木敬司 木部町 金一封	福郷 孝司 染羽町 金一封
(故) 栗栖 茂 須子町 金一封	(故) 岡 明 下種町 金一封	寺戸 尋子 美都町仙道 金一封
伏谷チエ子 下種町 金一封	(故) 村上 久子 匹見町石谷 金一封	匿名 30,000円
岡 ヒロ子 下種町 金一封	渡辺 豊孝 匹見町紙祖 金一封	匿名 20,000円
(故) 岩本 勝美 久城町 100,000円	匿名 金一封	
(故) 堀野 茂 東町 金一封		

あんしん生活支援センター

ふれあい福祉相談のご案内 10月

相 談	開 催 日	時 間
無料法律相談	10月9日(金)	13:00~15:00
ふれあい福祉相談	10月9日(金)	10:00~15:00
老人母子相談	10月9日・23日(金)	10:00~15:00

どんなことでも、まずはご相談ください。
いっしょに考え、解決へのお手伝いをいたします。



お問合せ
ご予約

あんしん生活支援センター(益田市社会福祉協議会)
フリーダイヤル: 0120-062-301 / TEL: 22-7256 / FAX: 23-4177 (月~金 8:30~17:30)

匹見無料法律相談のご案内 10/16 (金) 13:00~15:00

※ 相談には予約が必要です。
詳細は下記までお問合せください。

場所: 益田市社会福祉協議会匹見支所
担当: おとよし法律事務所 弁護士 田中 秀樹 氏

益田市社会福祉協議会匹見支所 TEL:56-0374 又は益田市社会福祉協議会 TEL:22-7256 まで



美都地域 ふれあい・いきいきサロン交流会を開催しました！



夏の初め、美都地域ふれあい・いきいきサロン交流会を開催しました。コロナウイルス感染拡大防止のため、時間縮小、人数を制限しての開催でしたが、活発な情報交換の時間となりました。

「介護予防のためなるべく運動を取り入れている」「いっしょに食事を摂ることで本音や困り事を聞いている」「来てほしい人にはなかなか来てもらえないが、誘い続けている」「活動自粛中は犬の散歩ついでに高齢者の家を訪ねた」など、サロンは地域の実情に合わせた確かな目的を持って運営されており、その活動は個々の暮らしの中でさらに発展し、地域での見守りや支えあい自然と生まれていく素晴らしい活動だということ、改めて確認し合うことができました。

参加者のみなさんからは「他地区の活動内容や現在の状況を知ることができ、とても参考になった」との感想をいただき、有意義な交流会となりました。



サロン都茂上いってみよう会

が誕生しました♪

7月16日、美都町の都茂上地区に新たなサロンが立ち上がりました。

その名も「サロン都茂上いってみよう会」。地域のみなさんが、「あの会楽しかったよね、またいってみようか」と足を運んでくださるような会にしたいと、世話人さんたちが考えた名前です。

立ち上げとなったこの日は、まずはみんなで顔を見て話をしてみようと、茶話会を企画。この会のために増本幸義さんが用意して下さった手作りの木製知恵の輪で頭を使い、佐々木孝子さんによる即興のジャンケンゲームで大笑いしました。

美都町にまたひとつ、新たな「地域のお宝」が出来ました。たくさんの人の思いが詰まったこの会が、末永く、都茂上地区の見守りや、ささえあいの場となりますよう、生活支援コーディネーターが応援していきます。

(美都地区 生活支援コーディネーター・田村)





2020年夏、匹見町で竹あかり点燈！

7月23日(木)全国47都道府県で一斉に「竹あかり」を点灯させ、世界へ希望と平和のメッセージを発信する「匹魅力みんなの想火プロジェクト」が、匹見峡レストパークで開催され、匹見の魅力である「森(竹)」をテーマに匹見保育所、小中学校の子供たちが参加しました。

小雨の降る中、竹の切り出しから始まり大きささまざまな大きさに切った竹筒にドリルで穴を開けて竹灯籠が完成。七夕飾りには、参加者ひとり一人が色とりどりの短冊に想いを込めて願い事を書き、保育所園児や地域の方々が書いた願い事も一緒に笹に飾り付けます。切り出した竹の一節を使った爽やかな竹の香りがする「竹筒ご飯」も味わい、匹見の竹の魅力を感じることができました。プロジェクトのフィナーレを彩る竹灯籠が点灯し、それぞれの竹筒からやわらかな優しい灯りがとまり、全国の灯りがオンラインで映し出されると歓声と拍手が沸き、「人と人」「笑顔と笑顔」が繋がった感動の瞬間でした。

(東京オリンピック前夜に竹あかりを点灯させ「welcome to Japan (ようこそ日本へ)」のメッセージを世界中に伝えるプロジェクトが予定されていた。)



春日荘の ミニ 夏祭り



8月5日、老人ホーム春日荘にて、『ミニ夏祭り』が開催されました。今年はコロナの関係で様々な行事が中止となる中、少しでも利用者の方と一緒に楽しむことがないだろうかと、職員の皆で計画したものです。

千本引きで運試しをしたり、職員が作った焼きそばやたい焼きを召し上がっていただき、お祭りの最後には、施設長が作成した昨年1年間の春日荘での行事をまとめたスライドを上映すると、「懐かしいね」と笑みがこぼれました。

老人ホーム春日荘は、これからも入居される皆様が安心して暮らせる「家」であるよう、努めて参ります。

支えあい マスクバンク への

ご協力をありがとうございます。

寄贈数 **2,693** 枚

配布数 **801** 枚

(8/31 現在)

引き続きのご支援を、なにとぞよろしくお願いいたします。

マスクバンク設置場所：益田市社会福祉協議会本所・美都支所・匹見支所、益田市役所保健センター (EAGA) 2階、北仙道公民館、鎌手公民館 など



発行：社会福祉法人 益田市社会福祉協議会
編集：益田市社会福祉協議会広報運営委員会

〒698-0036 益田市須子町3-1
TEL: 0856-22-7256 FAX: 0856-23-4177
社協e-mail: masuda_h@masuda-shakyou.or.jp

「はあてい」は英語で「心の温かい」、「真心のこもった」という意味をもつ「Hearty」の読みを日本語表記したものです。

社協ホームページ

益田市社協

検索